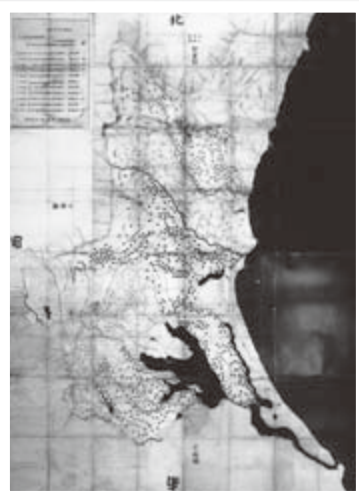


ふたつの霞ヶ浦 「カワをわたった人・モノ・情報」

期間 10月30日(土)～12月12日(日)

霞ヶ浦は周辺に住む人々の環境と文化に大きな影響を与えてきました。今回の展覧会では、古代、中世の霞ヶ浦が海に向かって開かれていた時代をひとつ、江戸時代初期の利根川東遷以降、霞ヶ浦が江戸に向かって開かれていた時代をひとつとし、これを「ふたつの霞ヶ浦」と表現してみました。霞ヶ浦周辺の人々は古くから霞ヶ浦を「流れ海」、「カワ」と呼んできました。水が流れているという認識が生まれたのは、盛んな水運によって多くの人やモノ、情報など、さまざまな恵みが水の流れ、水運によってもたらされたことによるのではないのでしょうか。霞ヶ浦の水運にかかわり、影響をうけてきた周辺の人々の姿を紹介します。



常陸国絵図(元禄15年)
〈写真版〉



利根川を行き来する高瀬船

□記念講演会

●江戸から明治の土浦河岸

とき／11月23日(火) 午後2時～3時30分

講師／岡部真二さん(県立牛久高等学校教諭)

●利根川東流―舟運路開発としての近世初期河川改修―

とき／11月28日(日) 午後2時～3時30分

講師／青木敏雄さん(境町歴史民俗資料館館長)

□映画上映会

●霞ヶ浦―1977

とき／10月30日(土)、11月13日(土)、12月11日(土)

午後2時～2時40分

※10月30日(土)は、撮影者の吉田 薫さん(霞ヶ浦市民協会理事長)によるお話があります。

◎共通

定員／各70人(先着順)

※いずれも入館料が必要です。

□見学会

●霞ヶ浦を船からながめよう

とき／11月12日(金)、20日(土)、26日(金)、12月4日(土) 午後1時30分～午後2時10分

集合場所／土浦港内ラクスマリーナ「ホワイトアイリス」乗り場

定員／各回40人(先着順)

申込方法／10月30日(土)から電話または直接

参加料／大人：1500円、小人：750円(乗船料)

●土浦城ウォッチング―土浦藩領の村々

霞ヶ浦周辺に点在する土浦藩領だった場所を回ります。

とき／11月27日(土) 午前9時30分～午後0時10分

集合場所／市立博物館

定員／20人(先着順)

申込方法／10月30日(土)から電話または直接

参加料／50円(資料代)



こうこきしょう
航湖紀勝

休館日／毎週月曜日、11月24日(火)
※11月23日(火)(勤労感謝の日)は開館
開館時間／午前9時～午後4時30分
入館料／一般：105円、小・中学生、高校生：50円(20人以上の団体は一般：75円、小・中学生、高校生：30円)
※毎週土曜日は小・中学生、高校生入館無料
◎11月3日(火)文化の日、13日(土)県民の日は入館無料
申問 市立博物館 ☎824・2928